

# 廣報費

合 計 373,089 円

領収書貼付用紙 (研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報費・その他)

貼付欄	領収書No.
	(1)

領收証

No.

令和3年3月26日

周南市議会六合会

様

金額 ￥373,089.

但し 会報印刷代・折り込代

上記金額正に領収いたしました。



現金	○
手形	
小切手	
相殺	

有限会社 精文社

代表取締役 喜

〒745-0016 周南市若宮5番  
TEL (0834) 21-9502  
FAX (0834) 21-9502

取扱者
██████████

## 会長 福田 文治

新型コロナウイルス感染症はいまだに終息のきざしが見えませんが、我々六合会は市民と共に積極的に参画型行政に関わり、未来を創造し、「是々非々」を理念しながらも市民のため、より良い提言を続ける政策集団を今後も目指します。

## ■新型コロナウイルスについて

世界各国に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症、周南市も昨年末にクラスターが発生し多くの感染者が確認されました。救世主のワクチン接種が本市も医療関係者を優先し始まりました。国によるワクチンの供給日程は現在(3月中旬)不明確であり、市は決定次第早急にワクチン接種ができる体制をとっています。16才以上の全ての市民がワクチン接種を積極的に受けコロナ終息に向け総力を挙げ取り組みましょう。

本市は集団接種7か所と、医療機関での個別接種ができるよう準備中です。

## 集団接種場所

キリンビバレッジ総合スポーツセンター・イオンタウン周南・ゆめプラザ熊毛・沼木小学校体育館・コアプラザ鹿野・大津島小中学校体育館・徳山保健センター(需要に応じ)



## ■新南陽総合支所整備について

令和元年12月から工事を行ってきた西消防署がこの3月に完成し、3月19日には移転作業、令和3年4月1日から新しい西消防署で業務を開始します。(総事業費約14億円)

また、平成30年8月にイオンタウン周南に移転した新南陽総合支所についても、令和8年度中に旧新南陽総合支所敷地内に建設するといった事業スケジュールが見直され、建設位置や規模を前倒しで決定し、令和6年度中に完成予定となりました。令和3年度からは具体的な整備事業が進むこととなります。

## ●位置

旧新南陽総合支所敷地内(整備計画図③に庁舎、来庁者駐車場 ①に防災倉庫、臨時駐車場)

## ●規模

約1,000m<sup>2</sup>(庁舎:約900m<sup>2</sup>、防災倉庫:約100m<sup>2</sup>)



## ■福川南地区の公共施設の再編について

## ●スケジュール

- ・令和3年3月末 福川南児童館閉館
- ・令和3年4月～ 福川南児童館をみなみ会館へ転用するための整備事業  
(設計・遊具撤去・増改築工事・駐車場整備等)

- ・令和4年夏頃 増改築等完了、みなみ会館移転
- ・みなみ会館移転後 現みなみ会館を新南陽民俗資料展示室に転用  
(改修)

## ■徳山駅周辺整備事業について

平成17年2月徳山駅周辺整備構想策定以来16年間にわたり実施してきた総事業費約130億円の整備事業が完了致しました。私は特別委員会の委員長として長期間携わらせて頂き、無事事業が完了することができました。関係者の皆様に感謝申し上げます。

平成19年8月 徳山駅南口エスカレーター棟供用開始

平成26年9月 徳山駅南北自由通路及び橋上駅舎供用開始

平成30年2月 徳山駅前賑わい交流施設(新駅ビル)供用開始

令和元年11月 徳山駅北口駅前広場供用開始

令和3年3月 徳山駅南口駅前広場供用開始

## ●徳山駅南口駅前広場の整備について

## 1. 進捗状況

- ◆自家用車整理場 3月20日 供用開始予定
- ◆南口整備工事(全て) 3月末 完成予定

## 2. 自家用車整理場の運用等

- ◆自家用車整理場の仕様および料金(下表)

管理運営	JR西日本(株)	
管理方法	機械(バーキング)管理	
駐車台数	12台(うち身障者用1台)	
利用時間	24時間	
利用料	20分以内	無料
	20分を超える60分まで	200円
	以降30分まで毎に	100円

◆R3年度以降に、県が県道交差点部の舗装工事を予定。



## ○令和2年に実施した一般質問!

- ・自然災害への対応について
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・JR福川駅のホームの改善について
- ・コロナ禍における行財政運営
- ・新南陽総合支所整備に係る住民説明会での意見等への対応について



## 《周南市の未来を見据えて》

佐々木 照彦

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活に大きな影響が出ていました。行政も幾度となく補正予算を編成しました。私は予算決算委員長としてすべての予算審議に加わり、議会も速やかに議案を成立させるために努めてきました。今後も行政と一緒に市民の命と生活を守り、経済を回復させるために取り組んでまいります。

### 令和2年度 私の一般質問

- |        |   |
|--------|---|
| 6月定例会  | ・新型コロナウイルス感染症の影響について<br>・学生の支援について<br>・災害対策について |
| 9月定例会  | ・離島の医療体制について<br>・終活支援について<br>・犯罪被害者等支援について      |
| 12月定例会 | ・観光振興について                                       |
| 3月定例会  | ・防災・減災に向けた海岸、港湾の取組について                          |

### 【奨学金制度について】

学生の支援に関する一般質問の中で「奨学金制度の充実」を取り上げ、本市の定住促進奨学金を拡充する必要性を問いました。

今般の新型コロナウイルス感染症の流行により学生生活に大きな影響が出ていること、貸付型の一般奨学金では学生が新社会人となって多額の借金を背負っての生活を余儀なくされること、周南市に対する愛着やシビックプライドの醸成につながることなどが主な理由です。

12月定例会において「周南市奨学金貸付等基金条例」の一部を改正する議案が提出され可決成立、来年度分から奨学金制度の拡充が行われることになりました。

### 【観光振興について】

現在、観光案内所が再開発による事務所の移転で、仮設ではあるが徳山駅新幹線口側2Fに設置されています。本来、そこに設置されるべきであるという考えを述べ、今後の見通しを問うたが、協議中との答弁であった。観光客の受入環境の整備を確実に進め、おもてなしのまち周南を実現してほしい。

また、コロナ禍の中、行事・イベント等を開催する上での判断指針についても、主催者側と協議をして進めているとはいえ、責任持った対応として周南市独自のガイドラインを早く示してもらいたい。



委員長  
佐々木 照彦



# コロナ禍を乗り越えて持続可能なまちづくりを

青木 義雄

## コロナ禍の中で

昨年は新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、4月には全国47都道府県を対象に緊急事態宣言が発出されました。その効果により感染者数は減少しましたが、その後再び増加に転じて今年1月には感染者数の著しい大都市圏を対象に、再び緊急事態宣言が発出されました。このような中、医療の最前線で懸命に治療に当たっていただいている医療従事者の皆様には心より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

感染者は周南市でも確認され、更にはクラスターも確認されるなど社会経済活動を始めとするさまざまな活動に大きな影響を与えました。特に、各種イベントの中止や外出行動の自粛など、人と人がふれあう機会が制限され、地域には閉塞感が漂い、市民生活や地域経済への影響は甚大なものがありました。

日々の生活においても外出の自粛、手指消毒の徹底、マスクの着用、身体的距離の確保などの感染拡大予防の対応は不可欠となりました。人と人がお互いに距離を取りながら、なるべく接触の機会を減らす、「新しい生活様式」の実践が日々求められています。

感染症の対応で大切なことは、タイムリーな政策による行政の支援はもちろんですが、一人一人の自覚ある行動が重要になります。コロナ禍を乗り越えていくには、我々一人一人が社会を構成する一員であるという原点に立ち返らなければなりません。収束に向けての期待が高まるワクチン接種も始まります。新型コロナウイルス感染症の収束をねがいつつ、持続可能なまちづくりの実現に向けて取り組んでまいります。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

昨年は4年に一度の周南市議会議員選挙が行われ、新人議員6人を含めて、新たに市民の皆様の負託を受けた議員30人による新体制がスタートし議長に就任いたしました。周南市議会においては、新型コロナウイルス感染症の対応として、会議の際にはアルコール消毒液で手指消毒をし、マスクを着用して入場することを義務付けました。また、議場内では十分な換気量を確保しつつ、さらに換気量を増やすため4つの入り口ドアをすべて開放して開催いたしました。また、傍聴される皆様にも同様に、手指消毒およびマスク着用をお願いし、傍聴席では身体的な距離の確保のため、十分な間隔が取れるよう、座席を指定するなどの対策を取ってまいりました。活発な議論が展開している本会議場に、多くの皆様が傍聴にお越しいただけたらと思います。

## 進化する市議会

新型コロナウイルス感染症が全国的な広がりを見せ、市民生活・地域経済への影響は甚大なものがあります。未だ厳しい状況にありますが、その実情を議会において多くの議員が取り上げるなど、行政に対して、さまざまな支援・サポートについて議論し提案してまいりました。暮らしの安心安全を最優先に、周南市に住んでよかった、これからも住み続けたいと思っていただけるまちづくりをめざします。



これまで周南市議会は市民の皆様の、身近でわかりやすい開かれた議会をめざして、市ホームページでの政務活動費の収支報告書や領収書、視察報告書の公開などさまざまな議会改革に積極的に取り組んでまいりました。これまで積み上げてきたものを生かしつつ、新しい時代の流れを取り込みながら、主役である市民の皆様の声に耳を傾けて、二元代表制の一翼を担う議会としての役割を果たしていきたいと決意しているところです。

# 新鹿野総合支所は木造建築に! 跡地は文化・観光ゾーンとして整備!

長嶺 敏昭

「周辺エリアを観光・交流ゾーンとして位置づけ、鹿野地域の豊かな観光資源を活かした周南市北部の観光拠点施設として整備します。」

藤井律子市長の私共の信頼に足る、揺るぎない意志が表明されました!



**問** 今年2月9日、鹿野総合支所の建設場所と跡地の整備方針を明確に表明されたが、特に大事な視点である総合支所跡地周辺とは、①現総合支所近くの極狭い範囲か。それとも、②清流通り、天神山、せせらぎ・豊鹿里パーク周辺なども含む、やや広い範囲の整備プランの策定になるのか?

**答** 鹿野地域は交流人口拡大のための豊かな文化・観光資源がある。鹿野総合支所建替えの位置などの方針を出してからは、②の清流通り、天神山、せせらぎ・豊鹿里パーク周辺なども含むやや広い範囲で考えている。観光交流ゾーンとして考えると、文化・観光という点でポテンシャル(潜在能力)がある。現在総合支所が建っている土地を中心ゾーンとしてどう活用していくか、観光という視点で考えていく。

昨年、私自身に思わぬ体調不良が判明し、徳山中央病院に入院しており、12月議会を欠席致しました。その間、同僚議員をはじめ多くの方々にご迷惑、ご心配をおかけしたこと、誠に申し訳なくお詫び致します。入院中に感じた患者や医療従事者の心労なども今後の議員活動、発言に活かしてまいります。

## 地域の宝である徳山大学の公立化、看護学科新設は是非とも必要です!

昨年10月から12月にかけて病気療養のため、お世話になった徳山中央病院は、新型コロナ感染症対応の医療施設としてだけでなく、時折ドクターヘリも離着陸する山口県屈指の基幹病院として優秀な医師・看護スタッフと共に本市に存在することの有難さを肌で感じたところです。人間、病気を得ると、言い知れぬ緊張と恐怖の薄暗い淵を漂うような体験をするわけですが、時として真剣に患者に寄り添う看護師を通じて、癒しと勇気を与えてくれる不思議な『天使のささやき』を聞くことになります。

今、周南市では、徳山大学の公立化、看護学科新設が検討されています。医学の飛躍的進歩と看護技術の専門性にも即応した最高学府としての教育がなされなければなりません。『天使』が宿るような純粋で崇高な教育が受けられる大学に育って欲しいと心から願っております。

地方都市に若者がいる文化、魅力ある大学、選ばれる大学に地域と共に育てていかなければならぬ本当に大切な資源だと思います。

## 「2050年脱炭素・カーボンニュートラル宣言」は周南市にどんな影響があるのか?

周南市の工場群の風景がモデルという話題の美しい絵本『えんとつ町のペペル』を読みました。私の亡き父親の微かな匂いを思い起こさせてくれた素敵な絵本でした。入院中、その「えんとつ町」を病院の高い所から毎日眺めながら、日常復帰を目指してリハビリに励んでおりました。その工場群に隣接する徳山湾には、黒い「天の橋立」のように見える一角があり、それは「石炭の山だな」とすぐに分かる一帯でした。

昨年、菅義偉内閣総理大臣が誕生し、その所信表明で語られたのが、地球温暖化抑止のための「2050年脱炭素・カーボンニュートラル宣言」でした。30年後の目標とはいえ、宣言が巨大な石炭火力発電を企業戦略とした電解コンビナートを形成しているわが周南市にどのような影響があるのかと思いました。

周南市の水素利活用政策は、コンビナート企業からの副生水素による究極の脱炭素社会の政策として大いに期待をしたものですが、市民レベルでの水素先進都市の実感はないと言わざるを得ません。大企業まかせで、やや疑問に感じることもあります。